

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	演劇表現演習Ⅱ	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名	俳優コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	40時間
単位数	1単位					授業形態	実習
教科書/教材	必要に応じて資料を配布する。						
担当教員情報							
担当教員	井上謙一郎			実務経験の有無・職種	有・殺陣師		
学習目的							
この科目を受講する学生は、殺陣を主としてアクションも学びます。殺陣やアクションの基本技術をはじめ時代劇に必要な知識や所作を学び、それらを自身の身体を使って表現し、そして実際の映像や舞台の現場でどう活かすことが出来るかを目的とします。また同時に殺陣やアクションに伴う危険性について学び、安全対策を常に考えながら実演することも目的とします。							
到達目標							
この科目では、学生が、殺陣（以降、アクション含む）の本質である（相手との）間合いや呼吸を理解すること、殺陣の危険性について理解すること、課題の殺陣を安全に表現出来ること、また課題の殺陣を的確かつ迫力あるよう観ている側に伝えること、学生たち自身で殺陣場面の演出・振付・実演できること、時代劇では台本に描かれている時代背景を読み解き所作や殺陣を使って表現できることを目標にしている。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、個人、パートナー、そしてグループでの作業を行います。与えられた課題にたいしてまずは個人で理解して実演、次に対戦パートナーとの実演で技術の正確性や理解度の確認、グループ作業ではメンバーによる客観的な意見を参考にしてそれぞれの個性や技術を活かしあいながら作品作り（ビデオカメラを使用）に取り組み、最後にそれぞれが感じたことコメントしていく。この授業で学んだこと（インプット）を学生自身が身体を使って表現し、意志や意見を伝えていくこと（アウトプット）を目指します。						
注意点	この授業では、学生間・教員とのコミュニケーションを重視します。授業中の私語や受講態度、及び殺陣に伴う危険行為などには厳しく対応、理由のない遅刻や欠席、また実技の授業である故に許可のない見学も認めない（授業中の急な体調不良を除く）。授業時数の4分の3以上出席しない者は受講態度や実技の評価をすることができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	成果発表（実技）	50%	期末に行う実技発表会、内容について評価する				
	小発表会（実技）	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	アクションの実践（1）			基本の確認、台本（1場面）を使用して作品を作る			
2回	アクションの実践（2）			基本の確認、前回の反省点を活かして修正し作品を作る			
3回	アクションの実践（3）			基本の確認、より掘り下げて工夫し作品を作る			
4回	アクションの実践（4）			基本の確認、自分たちで演出・振付して作品を作る			
5回	アクションの実践（5）			基本の確認、前回の反省を踏まえて作品を完成させる			
6回	殺陣の実践（1）			基本の確認、台本を使用して作品のデッサンを作る			
7回	殺陣の実践（2）			基本の確認、台本に描かれた時代背景を理解し所作も使って表現する			
8回	殺陣の実践（3）			基本の確認、振付を早く覚え、手順や導線を理解しながら作品を作る			
9回	殺陣の実践（4）			基本の確認、振付の変更や追加による間合いの変化に対応することが出来る			
10回	殺陣の実践（5）			基本の確認、カメラのサイズを把握しながら表現することが出来る			
11回	殺陣の実践（6）			基本の確認、カメラワークを意識して動くことが出来る			
12回	殺陣の実践（7）			基本の確認、これまでの課題をより掘り下げて作品を作る			
13回	殺陣の実践（8）			基本の確認、作り上げた作品に自分たちの個性（工夫）を取り入れる			
14回	殺陣の実践（9）			基本の確認、前回で修正した作品を仕上げていく			
15回	殺陣の発表会			基本の確認、これまで作り上げた作品の発表会、総括			